

イネビリズマブ療法

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Inebilizumab療法

主治医 指導医

疾患名 視神経脊髄炎スペクトラム障害

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

	初回	2週後	初回から6ヶ月後
ユプリズナ(イネビリズマブ) 300 mg/body	1回目	2回目	3回目
	↓	↓	↓
※ 4回目以降は6ヶ月おきに投与			

【注意】

- * 初回、2週間後に点滴し、その後、初回投与から6ヶ月後に、以降は6ヶ月ごとに点滴する。
- * 0.2又は0.22 μ mのインラインフィルターを通して投与すること。
- * 前投薬として、レスタミンコーウ錠(10 mg)5錠 およびカロナール錠(500 mg)1錠内服投与する。
- * 溶解後の安定性が悪いため、調製後4時間以内に投与する(保管する場合は2~8°Cで24時間まで)。
- * イネビリズマブ投与開始直前に、薬剤部へ調製開始の連絡を行う。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

① 生食 250 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)

② ソル・メドロール125 mg 側管静注

レスタミン錠 10 mg 5錠 内服

カロナール錠 500 mg 1錠 内服

☆ 30 分後より

◎ メインの生食でフラッシュ

③ ユプリズナ 300 mg + 生食 250 mL

◎ 輸液ポンプにて 42 mL/時間 で点滴静注

④ 42 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 125 mL/時間 で点滴静注

⑤ 125 mL/時間で 30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎ 輸液ポンプにて 333 mL/時間 で点滴静注

イネビリズマブ療法

◎ メインの生食でフラッシュ

☆ 投与後少なくとも1時間は患者の観察を行う

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
月日	/	/	/	/	/
ユプリズナ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
確認					